

1 調査名称：いわき都市計画道路網再編検討業務

2 調査主体：いわき市

3 調査圏域：いわき市全域

4 調査期間：令和5年度

5 調査概要：

いわき都市計画道路網再編計画は、平成元年のパーソントリップ（PT）調査をベースに平成12～13年のサンプル調査により検討された「総合都市交通体系調査」のデータを利用し策定されたものであるが、同計画において事業路線として位置づけた路線においても長期未着手路線が残っていると同時に、代替路線の検討等が必要な路線もあるなど、将来の都市計画道路ネットワークの在り方や整備の見通しを含めた見直しの必要が生じている。また、前回調査から約20年が経過し、本市を取り巻く環境は大きく変化しているため、令和2年度から令和3年度にかけて改めて「総合都市交通体系調査」を実施し、令和4年8月に第二次いわき都市圏都市交通マスタープランを策定したところである。

このため、本業務では、当該マスタープランに示す将来の都市交通の姿を踏まえ、長期未着手路線の都市計画道路を対象とした見直しのなかで、廃止及び変更候補路線として選定された路線のうち、都市計画変更の確度が高い路線について、都市計画変更図書の作成及び代替路線の検討を行うものである。

I 調査概要

1 調査名称：いわき都市計画道路網再編検討業務

2 報告書目次

1. 業務概要
2. 都市計画変更図書作成
3. 代替路線の検討
4. 今後実施すべき検討事項
5. 参考資料
6. 都市計画変更図書
7. 設計縮小図面
8. 打合せ協議書

3 調査体制

調査に関する委員会等の開催は行っていない。

4 委員会名簿等：

なし

Ⅱ 調査成果

1 調査目的

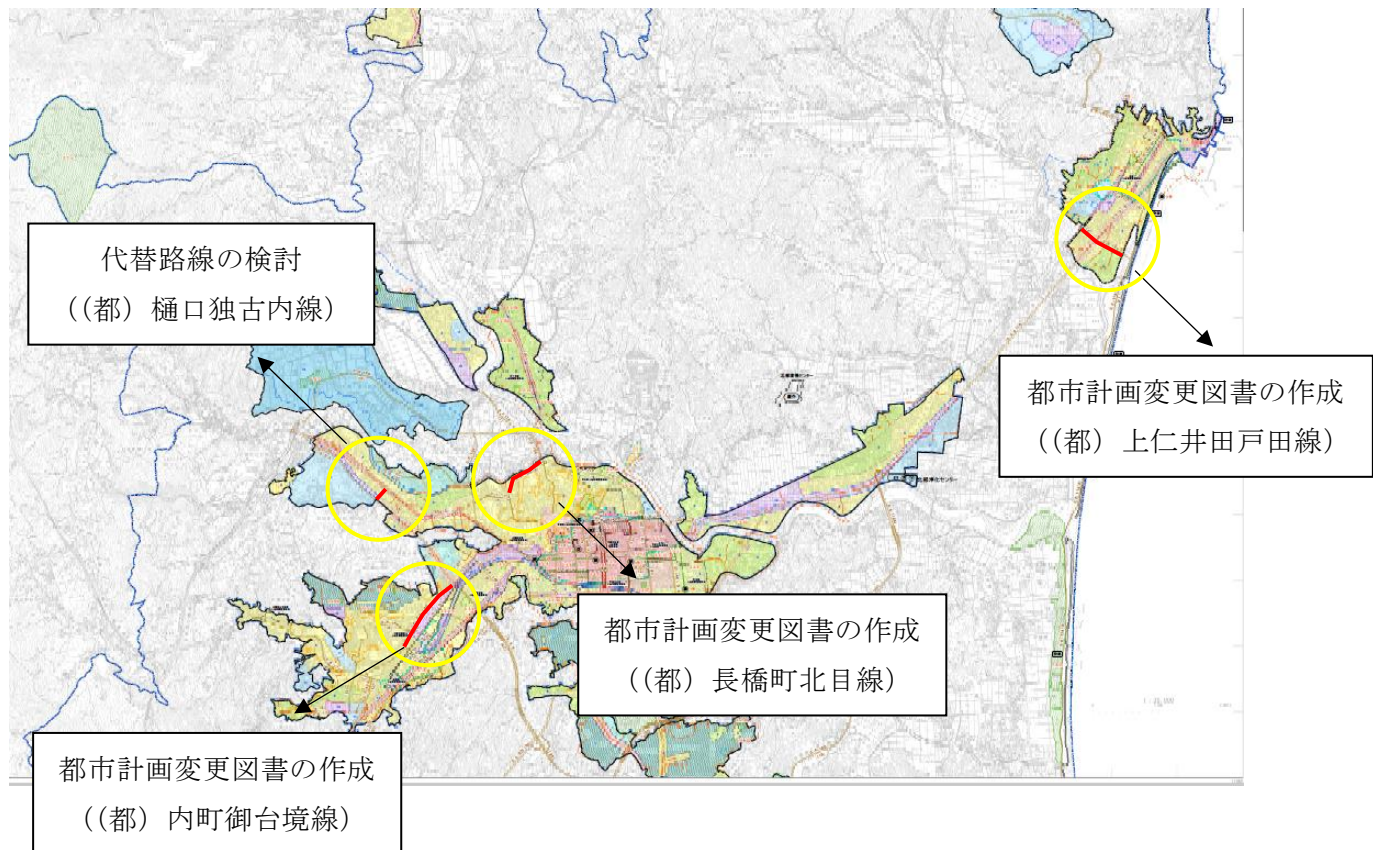
いわき都市計画道路網再編計画は、平成元年のパーソントリップ (PT) 調査をベースに平成 12～13 年のサンプル調査により検討された「総合都市交通体系調査」のデータを利用し策定されたものであるが、同計画において事業路線として位置づけた路線においても長期未着手路線が残っていると同時に、代替路線の検討等が必要な路線もあるなど、将来の都市計画道路ネットワークの在り方や整備の見通しを含めた見直しの必要が生じている。また、前回調査から約 20 年が経過し、本市を取り巻く環境は大きく変化しているため、令和 2 年度から令和 3 年度にかけて改めて「総合都市交通体系調査」を実施し、令和 4 年 8 月に第二次いわき都市圏都市交通マスタープランを策定したところである。

このため、本業務では、当該マスタープランに示す将来の都市交通の姿を踏まえ、長期未着手路線の都市計画道路を対象とした見直しのなかで、廃止及び変更候補路線として選定された路線のうち、都市計画変更の確度が高い路線について、都市計画変更図書の作成及び代替路線の検討を行うものである。

2 調査フロー



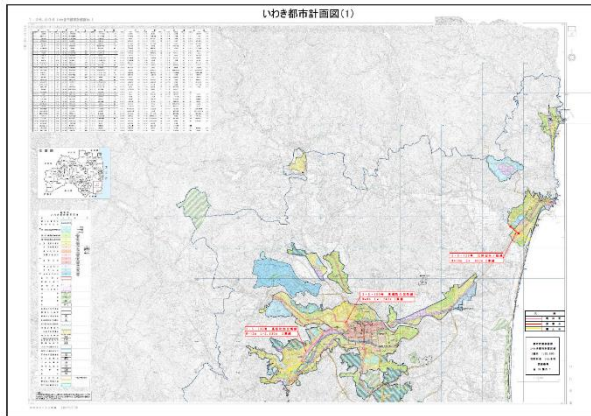
3 調査圏域図



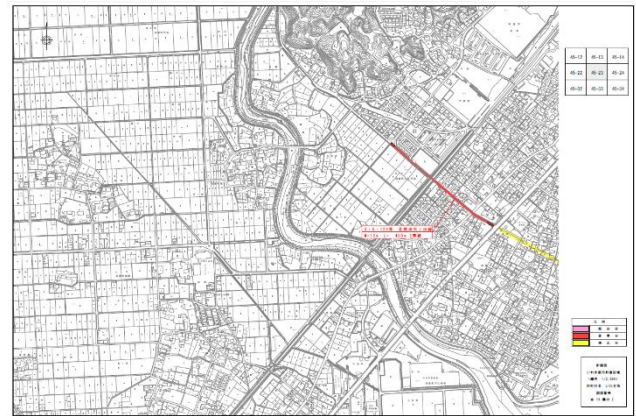
4 調査成果

(1) 都市計画変更図書の作成

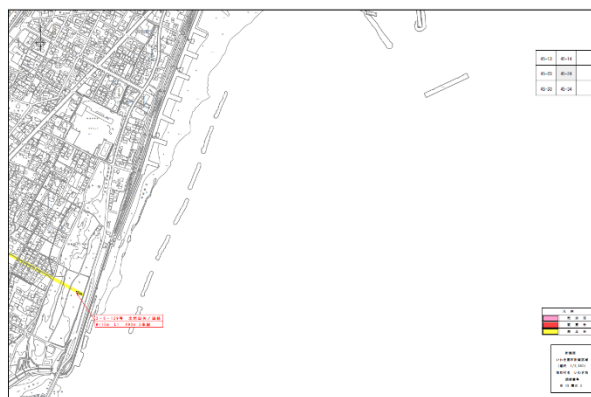
下記に作成した変更図書を示す。



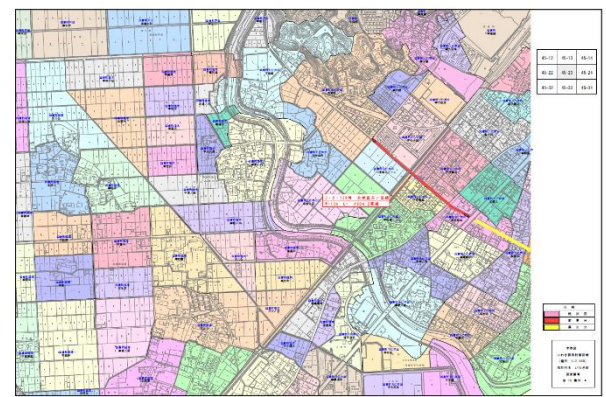
総括図



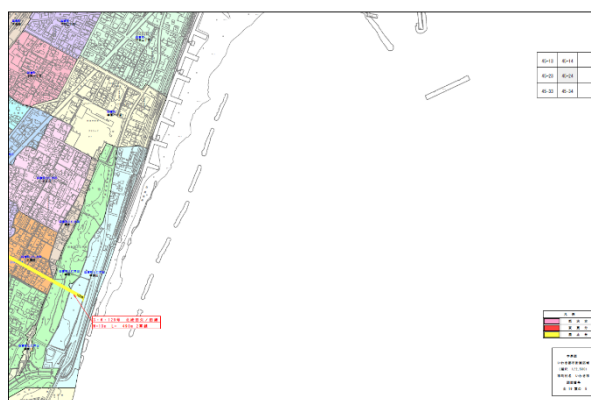
計画図①（上仁井田戸田線）



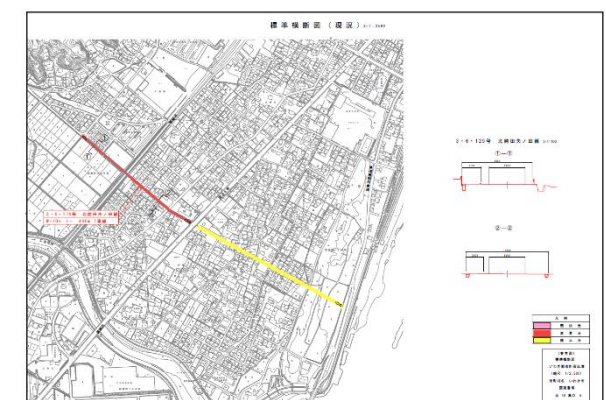
計画図②（上仁井田戸田線）



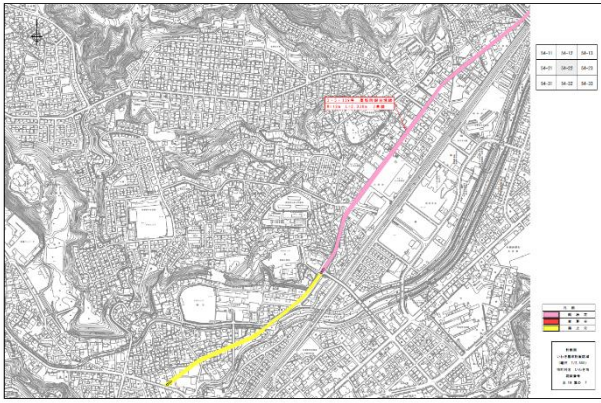
字界図①（上仁井田戸田線）



字界図②（上仁井田戸田線）



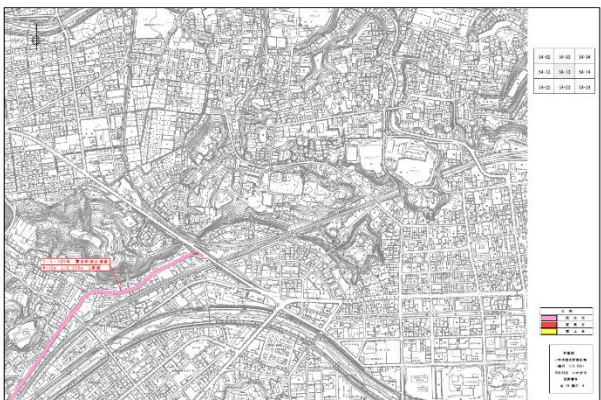
標準横断面図（上仁井田戸田線）



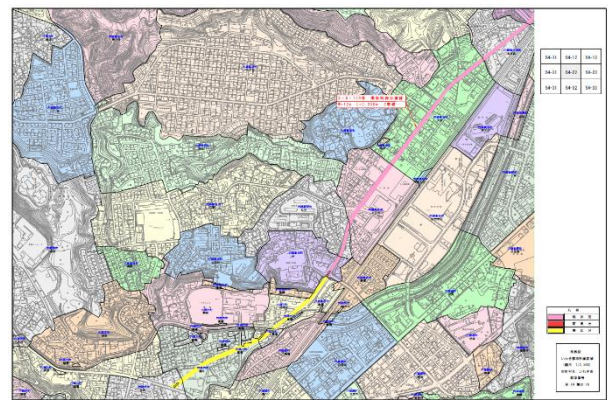
計画図①（内町御台境線）



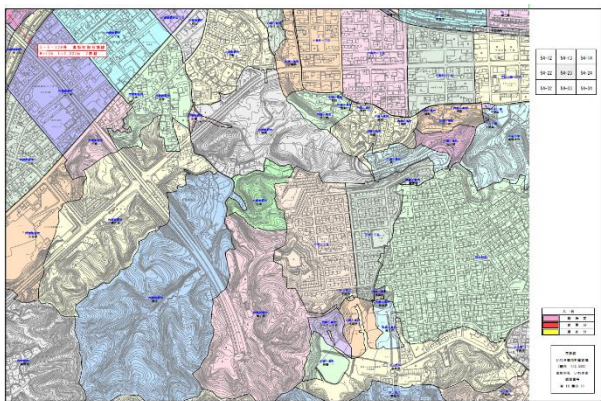
計画図②（内町御台境線）



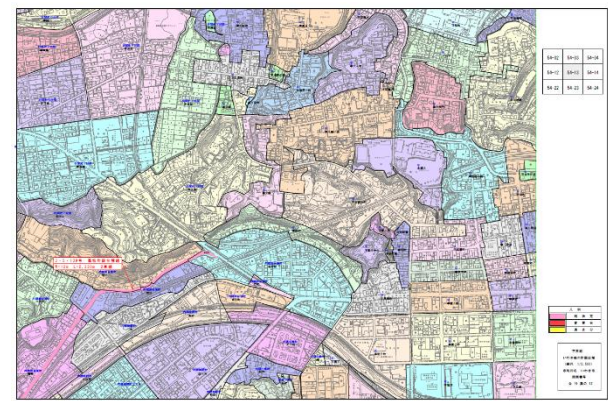
計画図③（内町御台境線）



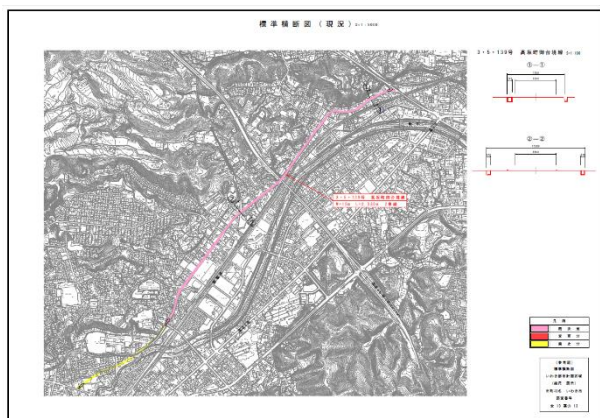
字界図①（内町御台境線）



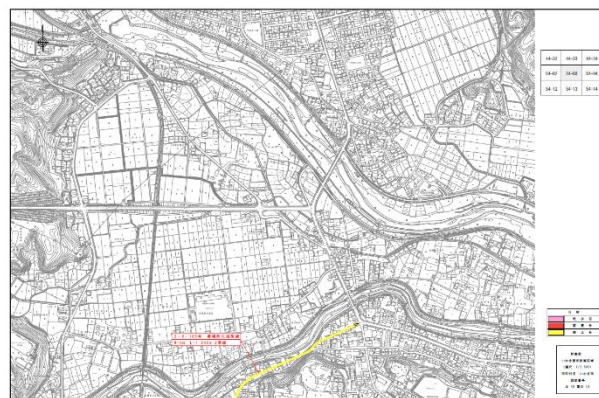
字界図②（内町御台境線）



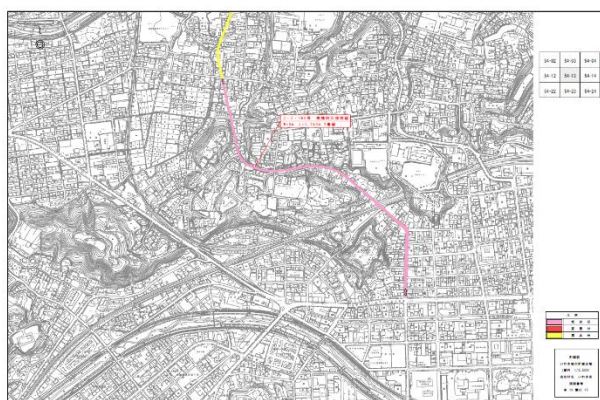
字界図③（内町御台境線）



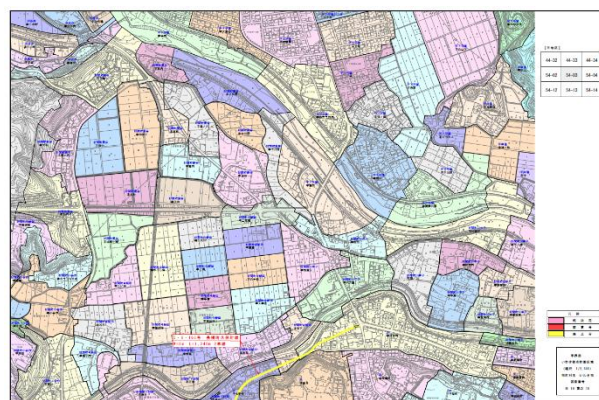
標準横断面図（内町御台境線）



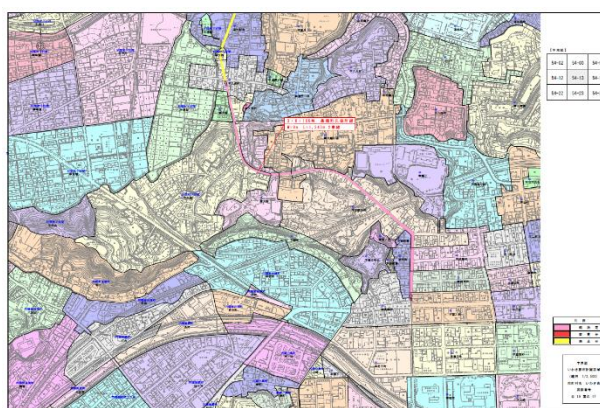
計画図①（長橋町北目線）



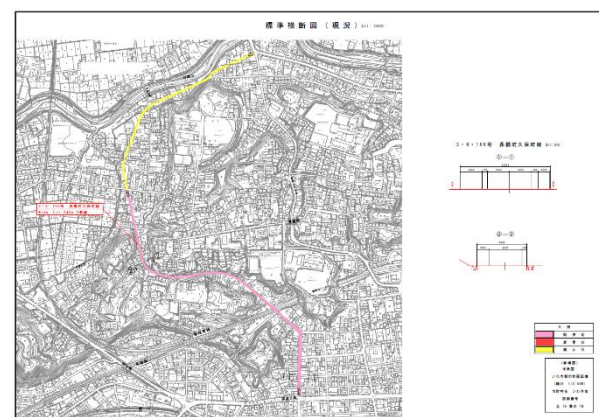
計画図②（長橋町北目線）



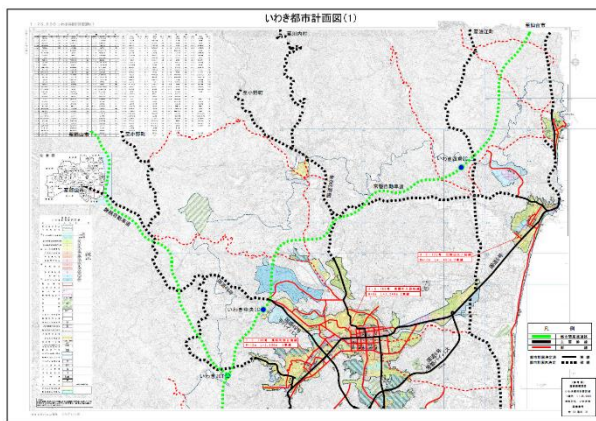
字界図①（長橋町北目線）



字界図②（長橋町北目線）



標準横断面図（長橋町北目線）



道路網構想図

(2) 代替路線の検討

(2)－1 検討概要

代替路線の検討対象である（都）樋口独古内線については、都市計画変更予定区間のうち、未整備の約 0.2km を対象とした。起点は新町前北好間線、主点は上矢田北好間線と接道するため、交差点計画も併せて行い、付加車線（右折レーン）を考慮した検討を行った。

(2)－2 今後実施すべき検討事項

①交通区分の決定

交通区分の決定に際しては、舗装計画交通量の把握が必要であるため、予備設計時に当該路線の交通量調査を行い、それに基づいて交通区分の設定を行うこと。

②設計C B R の決定

C B R 試験を実施、舗装構成を検討すること。

③制約条件の把握

今後、事業整備を進めるにあたり、コントロールポイントを把握したうえで予備設計および詳細設計を行う必要があるため、予備設計に際しては用地取得や季節構造物に係る制約条件、地下埋設物の有無等の情報収集を行い、設計に反映すること。

④関係機関との協議資料作成

当該路線は、（都）上矢田北好間線と接道するため、管理者協議が必要となる。また、交差点での交通処理について、警察の意向を確認する「公安協議を実施する」必要があるため、予備設計時に関係機関協議を進めることが望ましい。